

BASFと戸田工業が日本でのリチウムイオン電池用正極材の合併会社「BASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社」（BTBM）を設立。BTBMは、BASFジャパンが66%を、戸田工業が34%を出資のもと、日本でのNCA（ニッケル系正極材）、LMO（マンガン系正極材）、NCM（三元系正極材）といったさまざまな正極材料の研究開発、製造、マーケティング、販売に注力。BTBMは日本以外では、BASFが持つグローバルネットワークを最大限活用し、成長市場であるバッテリー材料産業での事業拡大を目指した

## 協業前の状況（～2015年）\*

- BTBMは、BASFが持つ自動車産業での多様なソリューションとポートフォリオと、戸田工業が持つマーケティング力、技術力、バッテリー産業でのノウハウを融合することでシナジーを創出し、バッテリー材料業界でのリーディングポジションを目指した
- 「リチウムイオン電池市場がグローバルに本格拡大していく中、戸田工業の正極材事業を発展させていくには、1 + 1を3にし得るパートナーとの提携が必要と判断し、今回、合併契約締結の運びとなりました。」（2014年10月 久保田正 戸田工業代表取締役会長）\*
- 「新会社は、正極材料市場でのリーディングポジションを目指します。電気自動車の急速な市場成長に向けて、私たちはバッテリー産業へのコミットメントを表明し、その市場の成長を強く確信しています。」（BTBMの最高経営責任者に就任した阿武保郎 前戸田工業株式会社 常務執行役員 戸田エナジーマテリアルズカンパニー プレジデント）
- BTBMの本社は東京都港区に設置し、山口県山陽小野田市と福岡県北九州市に製造拠点を構え、約18,000トンの正極材および前駆体の年間製造能力を有する。社員数は約80名

## 協業内容・出資比率\*

- BTBMは、BASFジャパンが66%を、戸田工業が34%を出資のもと、日本でのNCA（ニッケル系正極材）、LMO（マンガン系正極材）、NCM（三元系正極材）といったさまざまな正極材料の研究開発、製造、マーケティング、販売に注力

## 協業後の状況（2022年）\*\*

- BASFと戸田工業、日本の合併会社でハイ・ニッケル系正極材料の生産能力をさらに拡大
- ハイ・ニッケル系正極材料の生産能力を、バッテリーセル容量として年間45GWh分まで拡大
- 拡大する市場の需要に対応し、日本でのサプライチェーンを強化するための投資（2024年下半期に増設ラインを稼働予定）



小野田事業所

## 生産能力拡大の概要（2022年公表）\*\*

- 小野田事業所における増設ラインの建設は2022年第4四半期に開始し、商業生産は2024年下半期を予定。
- 2025年までに、BTBMのハイ・ニッケル系正極材料（CAM）の年間生産能力は6万トンまで拡大。
- 今回の拡張プロジェクトは、経済産業省の「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業」に採択。

\* <https://www.basf.com/jp/ja/media/news-releases/global/2015/02/p-15-147.html>

※ <https://www.basf.com/jp/ja/media/news-releases/global/2014/10/p-14-378.html>

\*\* <https://www.basf.com/jp/ja/media/news-releases/global/2022/07/p-22-294.html>

## 会社概要（プレスリリース\*\*から抜粋）

### ■ BASFの触媒事業本部について

BASFの触媒事業本部は、環境触媒とプロセス触媒の世界的なリーディング・サプライヤーです。同事業本部は、私たちが呼吸する大気の保護、生活を支える燃料の製造、先進のバッテリー材料などを含む多岐にわたる化学品やプラスチックの効率的な生産を支える技術開発で卓越した専門知識を提供します。BASFの業界をリードする研究開発プラットフォーム、技術開発への情熱、貴金属とベースメタルへの深い知識を活用することで、触媒事業本部は、独自のソリューションを開発し、顧客の成功をサポートしています

BASFの触媒事業本部についての詳細：[www.catalysts.basf.com](http://www.catalysts.basf.com)

### ■ BASFについて

BASF（ビーエーエスエフ）は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の3つを同時に果たしています。また、全世界で約110,000人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポー

トフォリオは、6つの事業セグメント（ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション）から成ります。2021年のBASFの売上高は786億ユーロでした

BASFの詳細情報：<http://www.basf.com>

### ■ 戸田工業株式会社について

戸田工業株式会社は、金属酸化物の湿式合成技術に特化し、顔料・トナーなどの着色材料、磁性粉材料、フェライト材料、その他各種磁性材料の製造を行っています。情報・環境・エネルギーの側面から社会を支えるソリューションを提供することを基本路線に、グローバルな事業展開を目指します。戸田工業株式会社の2021年度の連結売上高は約353億円、2021年度末の従業員数は約1,300名です

戸田工業株式会社の詳細：<https://www.todakogyo.co.jp/>

## BASF



BASF触媒事業  
本部プレジデント  
ケニス・レーン

### （2015年設立時）\*

BASFの150年のイノベーションの歴史とともに、新会社で正極材ビジネスをさらに強化します。バッテリーの製造と開発において先進的な国である日本で、新会社を立ち上げることができたことをうれしく思います



BASF触媒事業  
本部プレジデント  
Dr.ペーター・  
シューマッハ

### （2022年公表時）\*\*

BTBMは優れた品質のハイ・ニッケル系CAMのリーダーであり、現在、BASFの電池材料のグローバル生産ネットワークにおいて重要な役割を担っています

すでに世界最大級のCAM向けの焼成工場の一つである小野田事業所への投資は、日本および世界における当社のお客様の意欲的な成長計画を支援するものです。私たちは、革新的で独自の新しい製造プロセスを導入し、非常に高いスループット（生産レート）と一貫した最高品質を両立させます

## 戸田工業株式会社



戸田工業株式会社  
代表取締役社長執行役員  
寶來茂

### （2015年設立時）\*

新会社設立により、グローバルに拡大し続ける市場への確に対応できる体制が整いました。今後、両社の資源を結集し、シナジー効果を最大限に発揮しながら、革新的なソリューションの提供などによりお客様のご期待に応えてまいります

### （2022年公表時）\*\*

小野田事業所のさらなる拡大により、日本政府が目指す国内のサプライチェーン強靱化を支援します。BASFとともに、リソースを結集し、シナジーを最大限に発揮して、急速に拡大するリチウムイオン電池の需要に対応していきます

\* <https://www.basf.com/jp/ja/media/news-releases/global/2015/02/p-15-147.html>

\*\* <https://www.basf.com/jp/ja/media/news-releases/global/2022/07/p-22-294.html>